

松本 まさなり

News

NO. 38

発行日 2008.7

発行元

形原町北淀尻19-15

市議会議員 松本まさなり事務所

TEL 57-6999 FAX 57-9905

URL <http://www.sk.aitai.ne.jp/~kom-14/>

蒲郡市議会 6月定例会が6月10日開会され、個人市民税に関する寄付金税制の拡充を柱とした、蒲郡市市税条例の一部改正など10議案を審議・採択し、6月20日閉会しました。

又、5月臨時議会において監査委員に選任されました。監査委員は、地方自治法第199条に定められた職務権限により、市の財務に関する事務の執行、経営に係わる事業の管理及び市の行政事務の監査等を実施します。6月23日より7月14日まで、平成19年度決算審査が行われます。多忙な日々ですが、しっかり取り組んで参ります。



5月17日午後、伊藤渉衆議院議員と共に五井眺海園を訪問し、青山理事長、施設長と面談して厳しい施設の運営や経営状況を伺いました。

蒲郡市民病院の現状について

現在の常勤医師数は43名ですが、市民病院として提供すべき医療を実施するためには医師不足の状況です。このため、呼吸器科、消化器内科、産婦人科、腎臓疾患、糖尿病疾患、心療科など一部の診療科では診療制限等し、消化器疾患については、救急搬送を断っています。

医師確保については引き続き大学医局へのお願い、研修医の確保、民間業者への依頼などあらゆる手段を尽くして努力しています。市民病院の勤務医は、少ない人数で地域医療を残そうと頑張っていますが、大変な過重労働となり疲弊しています。救急外来への不要不急の受診を控えるなどの市民の理解が必要としています。(市民病院より)

医師不足の解消へ / 市民病院で伊藤氏 地域医療の現状視察

公明党の伊藤渉衆議院議員(厚生労働大臣政務官)は17日、愛知県蒲郡市の市民病院を視察し、地域医療の現状について伊藤健一院長と意見を交わした。これには公明党の蒲郡市議も同行した。

同病院は現在、呼吸器科や消化器内科など一部の診療科で医師不足に陥り、診療制限を実施。中でも、入院が必要な2次救急医療への対応に問題が生じ、消化器疾患の救急搬送を受け入れられない状況が続いている。

伊藤院長は、診療科間や都市と地方間で勤務医の数に偏りが出ている問題を指摘。特に宿直勤務を伴う救急医療の医師確保が難しく「このままでは地域医療は崩壊する」と述べ、医療圏ごとの勤務医の定員制を訴えた。

これに対し、伊藤氏は「現場の生の声に真剣に耳を傾け、医師不足や医師の偏在の解消に全力を挙げたい」と答えた。

5月20日付、公明新聞掲載より

